



むかわ

2026

5

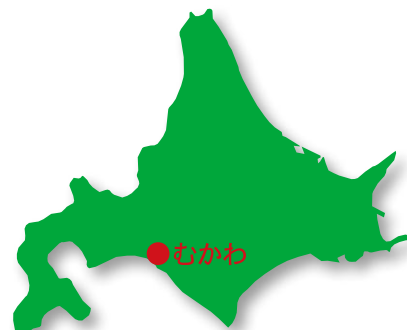
No.334



笑顔大笑!!



- JAむかわ第 102 回通常総会 … 2 ～ 4
- J Aむかわ地区別懇談会 … 5
- 鷗川蔬菜園芸振興会総会 … 6
- 鷗川和牛改良組合総会 … 7
- スズマル生産組合総会 … 8
- 胆振東部軽種馬振興会通常総会… 9
- 令和8年度 理事会議案一覧 …6 ～ 9
- JA むかわ女性部総会 … 10
- JAむかわ青年部定期総会 … 11
- JA青年部 JA役員と懇談会 … 12 ～ 13
- むかわ春レタス収穫開始 … 14
- ジャガイモ部会種芋の消毒作業… 15
- キャベツ部会1回目の播種 … 16
- 和牛婦人部もくし作り … 17
- 春の大展示即売会… 18
- 関真紀女性部長 人と地域が輝く … 19
- ブロッコリー部会通常総会 … 20
- 年金友の会総代会… 20
- 新入職員紹介 … 21
- 年金友の会温泉湯治 … 21
- 令和8年度団体等役員 … 22 ～ 23



編集・発行：令和8年5月1日
鷗川農業協同組合

〒054-0023
勇払郡むかわ町末広2丁目124番地
Tel 0145-42-2611
E-Mail jamukawa@sage.ocn.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.ja-mukawa.or.jp/>

4月10日

鵜川農業協同組合第102回通常総会

挨拶をする長門組合長



JAむかわ第102回通常総会

農畜産物販売額過去最高に

販売額過去最高の73億円

JAむかわは4月10日、むかわ町四季の館で「第102回通常総会」を開き、正組合員316名のうち代理出席を含む200名が出席した。

議長団は、二宮地区の山本忠彦さんと花岡地区の稲田春一さんが務め、当期末処分剰余金の処分方法や中期3カ年計画など13議案と報告事項2件を原案通り可決決定した。

総会に先立ち組合員顕彰要領に基づく表彰を行い、営農区農政推進委員4期12年を務めた田浦悟さんと、農業経営を移譲した目黒政志さんに、感謝状と記念品を贈呈した。

開会で長門宏市組合長は、「組合員の努力で農畜産物販売額は過去最高の73億円超えとなった。来期も農業情勢は国際紛争や気候変動など厳しさを増しているが、外部環境を適格に捉え、農畜産物販売額70億円を目標に、所得安定確保に努めてまいりたい。将来を担う人材確保と共に、組合員皆様

の協同を基に、事業を推し進めて参ります。一層のご理解とご協力をお願いいたします」と挨拶した。来賓を代表して、むかわ町栃丸直士町長と、JAホクレン苫小牧支所跡部敏郎支所長が挨拶した。令和7年度の事業報告では、過去最高の農畜産物販売額73億2095万円となった。

内訳として、農産物が23億309万円、蔬菜が36億2110万円、花きが2億3352万円、畜産が11億321万円、計画対比117%、前年対比の122%。剰余金処分案については、当期末処分剰余金が、1億9386万円。剰余金処分額1億3386万円の内訳は、利益準備金2684万円、任意積立金に8300万円。出資配当金と事業分量配当金に2402万円を充当し、次期繰越剰余金を6000万円とした。総会は議長団の円滑な議事進行により13議案と報告事項2件を可決決定した。



議長を務めた山本さんと稲田さん



説明をする毛利参事

農政推進委員長表彰

田浦 悟 さん

4期12年



農業推進委員長表彰を受ける田浦さん

経営移譲者表彰

目黒政志 さんから

健裕 さんに移譲

ご来賓の皆様

むかわ町	町長	栃丸 直士 様
むかわ町議会	議長	野田 省一 様
むかわ町農業委員会	会長	佐々木 保成 様
鵜川土地改良区	理事長	中奥 三徳 様
胆振農業改良普及センター東胆振支所	支所長	西川 智子 様
ホクレン苫小牧支所	支所長	跡部 敏郎 様
JA北海道中央会札幌支所	次長	永井 洋明 様
JA共済連札幌支所苫小牧駐在	次長	山本 真吾 様
JA北海道信連札幌支所	JAバンク推進課長	橋本 諒 様
公益財団法人北海道農業公社苫小牧支所	支所長	福井 忍 様
むかわ町農林水産課	課長	東 和博 様
胆振農業改良普及センター東胆振支所	地域第一係長	高田 和明 様

第102回通常総会提出議案

- 決算報告**
 - 令和7年度貸借対照表、損益計算書、および注記表並びにみのり監査法人の監査及び監事の監査報告について
- 付議事項**
 - 議案第1号 目的積立金管理要領の一部変更について
 - 議案第2号 令和7年度事業報告、剰余金処分案の承認について
 - 議案第3号 (定款付属書)役員選任規程の一部変更について(特別決議)
 - 議案第4号 農地信託規程の一部変更について
 - 議案第5号 宅地等供給事業実施規程の廃止について
 - 議案第6号 令和8年度事業計画の設定について
 - 議案第7号 組合員資本充実・配当充当運動の推進について
 - 議案第8号 賦課金の賦課及び徴収方法について
 - 議案第9号 経営所得安定対策等の事務に係る手数料の徴収方法について
 - 議案第10号 役員報酬の支給について
 - 議案第11号 固定資産の取得について
 - 議案第12号 JAむかわ中期3カ年計画について
 - 議案第13号 株式会社株式取得又は法人もしくは団体に対する出資・出金について
- 報告事項**
 - 1 労働保険事務組合の令和7年度徴収・納付状況の報告について
 - 2 「JAバンク基本方針」の変更について

3月23日



挨拶する長門組合長

JAむかわ地区別懇談会 対話深め協力の力発揮

JAむかわ（正組合員316名）は3月23日から3日間、集落センターとJA本部事務所地区別懇談会を開いた。懇談会では延べ63名が出席して対話を深めた。25日のJA本部事務所では、組合員21名と役員13名が出席した。



熱心に話を聞く出席組合員

長門宍市組合長は「ご理解ご協力に感謝している。昨年は組合員の努力で農畜産物販売高は過去最高の73億を超え、JAの総合収支実績は昨年とほぼ同程度となった。農業情勢は世界の紛争で一段と厳しい状況だが、総会に先立ち皆さんの率直なご意見を伺い、「越えたい」と挨拶した。内海久俊副組合長が座長を務め、毛利好隆参事が第102回通常総会の議案について、目的積立金管理要領の一部変更や、令和7年度事業報告と剰余金処分案、役員選任規程一部改正等11議案と令和8年度事業計画とJAむかわ経営基盤確立3カ年計画の設定について（案）を説明した。3ヶ年計画の基本方針では組合員の組織結集で単協運営形態の維持発展に努め、食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立などの、

令和7年度JAむかわの状況

出資金11億1230万円、単体自己資本比率25.88%、貯金高242億円、貸出金39億円、長期共済保有高は330億円、購買品供給高253億円。剰余金処分案は当期末処分剰余金が1億9386万円。剰余金処分額の1億3386万円を利益準備金に2684万円、任意積立金8300万円のうち施設整備積立金に6300万円、出資配当金1061万円（1%）、事業分量配当金1340万円（肥料等5品目の特別配当1.5%）を処分し、次期繰越剰余金を6000万円とした。

JAむかわの重点取り組み事項の地域農業振興計画や、高収益作物への作付け誘導、n i m a r u の新たな活用による集荷・物流改善、生産組織と連携した生産資材情報の発信、顧客ニーズに合ったサービスの提供などを説明した。懇談会に出席した組合員からは、職員の労働条件などに対する支援や新規就農者対策、出資増口について等についての意見に対し、「ご理解とご支援に感謝して前向きに取り組んでいきたい」と回答した。

JAむかわの重点取り組み事項の地域農業振興計画や、高収益作物への作付け誘導、n i m a r u の新たな活用による集荷・物流改善、生産組織と連携した生産資材情報の発信、顧客ニーズに合ったサービスの提供などを説明した。懇談会に出席した組合員からは、職員の労働条件などに対する支援や新規就農者対策、出資増口について等についての意見に対し、「ご理解とご支援に感謝して前向きに取り組んでいきたい」と回答した。

絆を強めた総会



抽選が当たり会場湧く



成田部長の司会はベスト



森さんに1等賞



受付する阿部課長と中興職員



ステージを飾った盛り花



賛成挙手



JA綱領を朗唱する組合員



受付をする奥村審議役と高田職員

2月24日 鷓川蔬菜園芸振興会総会

販売額過去最高36億円

第48回鷓川振興会



挨拶する平島会長

鷓川蔬菜園芸振興会は、2月24日、むかわ町農業センターで第48回通常総会を開いた。来賓12名を迎え、会員30名が出席した。

鷓川蔬菜園芸振興会は、各部会を束ね、会員相互の親睦と蔬菜振興をはかることを目的に、昭和57年に発足し、現在10部会で、部会員126名が所属している。

平島道弘会長は「3年連続記録的な猛暑や、9月以降の豪雨と生育不良や

病害虫の発生などで厳しい年でしたが、各部会の努力と高単価に支えられ、販売額は過去最高の36億円を超えました。安定供給ができ、感謝とお礼を申し上げます。今尚生産資材の高騰や運賃の値上げがありますが、各部会が確固たる目標を持ち、安心安全な生産物の安定供給を皆さんと共に継続していきたい」と挨拶した。

来賓を代表して、むかわ町成田忠則副町長とJAむかわ長門宏市組合長、農業改良普及センター東胆振支所西川智子支所長、札幌みらい中央青果(株)大野敏彦常務取締役らが、36億円達成のお祝いと、益々の発展を祈念し、挨拶した。

総会は佐藤啓太さんを議長に選出し、営農部の阿部秀吾蔬菜園芸課長が令和7年度の事業報告と収支決算書を報告した。

令和8年度の活動方針では、道内外の積極的販売促進と産地交流会の実施等とともに、むかわ産ブランド力を定着させ、生産や販売体制の強化を



総会議案を審議する出席会員

を図ることを提案した。また事前出荷予約や残留農薬検査の継続、むかわ産野菜の積極的な情報発信に加え、優良資材の試験投入、各取引先との情報交換による販売戦略の構築などを提案した。

さらに、令和8年度一般収支予算案や、災害基金収支予算案、残留農薬会計収支予算案、会費の徴収についてなど6議案を提案し、全議案を可決決定

3月18日

第54回鷓川和牛改良組合通常総会



挨拶する鎌田組合長

鷓川和牛改良組合総会 全国共進会見据え

鷓川和牛改良組合(組合員28名)は3月18日、鷓川本部事務所第54回通常総会を開き、組合員15名が出席した。

鎌田拓弥和牛改良組合長は「来賓と組合員に感謝とお礼を申し上げます。素牛や枝肉価格は上昇傾向ですが、依然として飼料や肥料、生産資材等の高騰で畜産業界を取り巻く状況は厳しく、先行き不透明ですが、地域の底上げ強化を図っていかねばならない」と挨拶

した。

来賓9名が出席し、むかわ町竹中喜之町長は「厳しい状況ですが、2027年全国和牛能力共進会に向け、期待しています」と挨拶。

JAむかわの長門宏市組合長は「和牛の販売高は計画を上回る4億9000万円となり、生産者に感謝とお礼を申し上げます」と挨拶した。さらに北海道農業共済組合みなみ統括センター、胆振農業改良普及センター、ホクレン苫小牧支所の来賓を紹介した。

議長に中田賢大さんを選出し、令和7年度むかわ町鷓川地域農業活性化推進基金事業の「繁殖雌牛確保戦力化対策」を営農部浅川峻係長が報告した。

議事の令和7年度事業経過報告では、各共進会や各枝肉共励会、毎月の市場上場用5種混合不活性ワクチン接種、削蹄、隔月の子牛登記・ヨーネ採血について報告。また、一般会計収支決算や共進会収支決算書、凍結精液会計収支決算書などを報告した。



出席者と来賓の皆さん

令和8年度の事業計画では、素牛価格や枝肉価格が落ち着き上昇傾向となり、優良繁殖雌牛の選定・保留による子牛生産基盤の強化し、令和9年北海道開催の「第13回全国和牛能力共進会」を見据えた各共進会への積極的取り組み、飼養技術の向上、繁殖雌牛選定基準の均一化による地域の底上げ、強化を図っていく、事業目標の新規事業の積極的取り組みや増頭、更新の推進、肥育部門の強化研究と消費拡大、他改良組合と購買者の交流など8項目を推進する計画を提案。さらに各事業収支予算(案)など提案した8議案を可決決定した。

令和8年度理事会議案一覧

第1回理事会議案書

日時 令和8年2月20日(金)午後1時30分

【報告事項】

1. 組合員の異動について
2. 1月主要行事報告について
3. 1月末農畜産物販売実績について
4. 部門委員会開催について

1) 第1回金融部門委員会 2月16日(月)

2) 第1回営農部門委員会 2月17日(火)

5. 令和7年度余剰金の運用状況について
6. 令和7年度不良債権管理・回収方針に基づく回収結果について

7. 令和7年度簿外管理債権(信用・購買)の回収状況について

8. 2千万円超信用供与先の経営状況報告について

9. 令和7年度特定組合員の営農実績について

10. 令和7年度決算自己査定結果並びに監査報告について

11. 会計監査人の再任の適否について

12. 令和8年度JA監事監査計画書について

13. 令和7年10月と令和8年1月内部監査の実績について

14. 令和7年度内部監査業務活動報告について

15. 令和7年度経営定期点検実施報告について

16. 反社会的勢力排除対応管理先対応状況報告について

17. 令和7年度下期苦情等対応状況定期報告について

18. 事務ミス等案件報告について

19. 令和8年度営農計画書の提出状況について

20. JAバンク基本方針の変更について

21. JAバンクの内部管理体制構築にかかる指

針の変更について

22. 令和5・6年度産産物共計最終精算について(監査報告含む)

23. 令和8年度コメの生産の目安について

【付議事項】

議案第1号 令和7年度決算処理について

議案第2号 令和7年度剰余金処分案について

議案第3号 固定資産の取得について

議案第4号 コンプライアンス・プログラム報告及び策定について

議案第5号 令和8年度組織諮問委員会への諮問について

議案第6号 令和8年度 理事に対する営農計画に基づく信用供与について

議案第7号 令和7年度農業経営移譲者及び令和7年度営農区農政推進委員長への感謝状贈呈について

議案第8号 賦課金の賦課および徴収と経営所得安定対策等の事務に係る手数料の徴収方法について

第2回理事会議案書

日時 令和8年3月19日(木)午後2時00分

【報告事項】

1. 組合員の異動について
2. 2月主要行事報告について
3. 2月末事業進捗状況について
4. 2月末農畜産物販売実績について
5. 部門委員会開催について

1) 第1回JAむかわ地域農業検討会 3月2日(月)

(次ページに続く)

2月27日

スズマル生産組合(37名)は2月27日、本部事務所定期総会を開き10名が出席した。山下裕太組合長は「昨年も猛暑や豪雨などの異常気象と病害虫の発生などと厳しい年となったが、乾燥調製施設での調整も良く、全国の納豆生産者からの評価も高かった。九州グリーンコープ連合との交流事業で福岡、長崎を訪れ交流を深め、信頼に応えて安全で高品質大豆を供給す



挨拶する山下組合長

スズマル生産組合総会

全国で商品化拡大

スズマル生産組合

- 令和7年大豆の作付面積228畝。生産数量は9280俵(1俵60匁)。販売額4277万円
- スズマル大豆は「産地の銘柄」で、「すずまるまたは鈴丸は納豆の商品名」。



鶴川産スズマル大豆を使用した納豆

ることができました。今年も信頼に応え面積確保と栽培管理に努めていただき、今総会でご意見を賜り活動に活かしていきたい」と挨拶した。

総会には、JAむかわの長門宏市組合長と胆振農業改良普及センター東胆振支所高田和明係長が出席し、代表して長門組合長が「むかわスズマル大豆はJAむかわの重要な作物と位置づけ、安全面にこだわり安定供給産地として期待されている。今年も豊稔の秋を迎えられるよう祈願しています」と挨拶した。

総会では、山下組合長が議長になり、営農部の皆澤選矢主任が令和7年度事業報告と収支決算を報告した。事業報告では試験区の設置や現地栽培講習会が行われた。

平成18年、JAむかわはGMOフリーゾーン(遺伝子組み換え作物を作らない地域宣言)を総会で決議し、国道沿いに大看板を設置した。遺伝子組み換え「いらぬ!つくらない!」地域宣言はグリーンコープと安心安全の信頼関係を強めてきた。

上程した6議案を全て可決決定した。役員改選では全員留任となった。前段、胆振農業改良普及センター東胆振支所高田和明係長による栽培講習会が行われた。

令和8年度、JAむかわはGMOフリーゾーン(遺伝子組み換え作物を作らない地域宣言)を総会で決議し、国道沿いに大看板を設置した。遺伝子組み換え「いらぬ!つくらない!」地域宣言はグリーンコープと安心安全の信頼関係を強めてきた。

胆振東部軽種馬振興会が通常総会

(有)上水牧場 褒賞を授与



総会で挨拶する桑原会長

胆振東部軽種馬振興会(会員18名)は2月19日、むかわ町農業センターで来賓6名を迎え、第66回通常総会を開いた。

褒賞馬は(有)上水牧場の「リトルサムシング」で、いずれも金沢競馬場「百万石かがやきナイター賞」「第60回サラブレッド大賞典」「第66回MRO金賞」で優勝した。

来賓のJAむかわ長門宏市組合長は「厳しい生産環境だが、軽種馬と競馬の販売高は共に好調で、関係各位の努力に敬意と感謝を申し上げます」と挨拶した。

来賓のむかわ町竹中喜之町長は「むかわ町の生産馬と軽種馬振興の応援をしています」と挨拶。胆振東部軽種馬組合の田中芳郎組合長は「昭和30年代の大先輩の築いてきた市場が道内5力所であり7、8割と売却が伸び、生産にも力がある」と挨拶した。同組合の高橋課長、むかわ町農林水産課東課長、JBB A生産対策田村正和部長、同静内種馬場山本竜次次長が紹介された。

総会は、令和7年度実施した道営競馬応援視察ツアーや、馬頭観世音大祭などの事業と収支決算を報告した。



総会で審議する会員と会場

令和8年度の事業計画は、道営競馬応援視察研修継続による集客力アップや、軽種馬飼養管理技術の改善、研究などの事業計画(案)が提案され、6号議案を可決決定した。

総会後、JBB A生産対策について田村正和部長が講演した。

2. 第1回経済部門委員会 3月5日(木)
3. 第2回金融部門委員会 3月9日(月)
4. 第1回農家経済対策部門委員会(3月9日) 内部監査の品質評価項目の報告について
7. 令和7年度 労働保険料徴収・納付状況報告について(監査報告含む)
8. 令和8年度特定組合員の選定及び営農指導方針について

- 【付議事項】
- 議案第1号 会計監査人による令和7年度決算監査の結果について
 - ・事業報告、貸借対照表、損益計算書
 - 議案第2号 令和7年度決算監査報告について
 - 議案第3号 令和8年度販売手数料・施設利用料一覧の改訂について
 - 議案第4号 令和8年度固定資産取得計画について
 - 議案第5号 令和8年度役員報酬について
 - 1. 組織諮問委員会の答申内容について
 - 議案第6号 令和8年度総合収支計画について
 - 議案第7号 令和8年度余剰金の年次運用方針について
 - 議案第8号 令和8年度信用供与限度額の改定について
 - 議案第9号 令和8年度貸付金の最高利率の設定について
 - 議案第10号 理事に対する手形貸付金の取扱いについて
 - 議案第11号 令和8年度不良債権管理回収方針について
 - 議案第12号 簿外管理債権の償却について
 - 議案第13号 規程の改正について
 1. 「目的積立金管理要領」の改正
 2. 「定款付属書 役員選任規程」の改正
 3. 「役員選任実施要領」の改正
 - 議案第14号 第102回通常総会の日程および提出議案について
 - 議案第15号 議決権行使書面における議決権行使にあたっての留意事項の決定について
 - 議案第16号 経営基盤確立3ヶ年計画の設定について
 - ・3ヶ年の方針について
 - 議案第17号 地区別懇談会の議案について
 - 議案第18号 令和8年度新むかわ町鶴川地域農業活性化推進基金事業決算報告並びに監査報告について
 - 外国人労働者の住宅確保支援に向けた要請書について

- 【協議事項】
1. 地区別懇談会の総括(第102回通常総会に向けての対応について)
 2. 2026農協まつりの実施について

- 【協議事項】
1. 地区別懇談会の総括(第102回通常総会に向けての対応について)
 2. 2026農協まつりの実施について

2月19日

産馬重賞馬褒賞授与式が行われた。

3月9日

JAむかわ青年部定期総会 役員改選は全員留任

JAむかわ青年部は3月9日、
鶴川農協本部事務所第77回
通常総会を開き、盟友33名と来
賓4名が出席した。
開会宣言後、全員でJA青年
部組織綱領を朗唱した。



定期総会で挨拶する辻部長

辻雄一郎部長は「昨年も猛暑な
どにより農業環境は厳しかった
が、米価などの高価格に支えら
れ過去最高の販売額となりました。
今総会でみなさんの意見を
聞き、地域の農業発展に努めて
参りたい」と挨拶した。
来賓のJAむかわ長門宏市組
合長は「JAの販売額は73億円
を超え、皆さんの努力に感謝と
お礼を申し上げます。今後も青
年部との対話を深め、支援して
行きたい」と挨拶した。むかわ
町農林水産課の
飛岡雅幸主幹は
竹中喜之町長の
メッセージを読
み上げ、JAと
まこまい広域青
年部石崎大和
穂別支部長と星
郁人副支部長が
紹介された。
総会は、議長
に高田慎一さん
を選出し、令和
7年度事業報告
並びに収支決算
を提案した。
辻部長が8回



役員改選では全員が留任し、挨拶する



綱領を朗唱する部員ら

の役員会や道内視察研修会、地
元小学生の田植、稲刈体験事業、
脱穀精米などの農育支援、層米
集荷、JA役員との懇談会、
職員との交流会などの活動内容
を報告した。並びに一般会計、
道外視察研修特別会計決算を
農業振興部の三品寛尚職員が
報告した。
令和8年度も、世界の紛争で
燃料の高騰など厳しい情勢だ
が、盟友同士が切磋琢磨して高
収益作物の導入や営農知識と

技術、人間力を高めて地域農業
の一役を担えるよう、情報の共
有や目標達成実現に向けての活
動方針と事業計画を提案した。
役員改選では、選考委員会
で審議し、全員が留任した。
総会は提案した7議案を承認
し可決決定した。さらに令和8
年度版JAむかわ青年部ポシ
ンブックを作成し、農政活動
を行っていくことを確認した。

3月4日



綱領を読む部会員



挨拶する関部長

JAむかわ女性部通常総会 道外視察など決める

JAむかわ女性部は3
月4日、むかわ町農業セ
ンターで第72回通常総会
を開いた。総会には部員
20名(委任8名)と来賓4
名が出席した。
関真紀部長は「春の訪
れとともに春作業の季節
となりました。昨年度の
活動報告を基に皆さんの
意見を聞き活動方針を決
定したいと思います。今
年度も食と農を守り、皆
さんと楽しく活動を続け
ていきたい」と挨拶した。
来賓のJAむかわ長門
宏市組合長は「女性部の
活動に対し感謝とお礼を
申し上げます。昨年度の
農畜産物の販売高は73億
円を超え過去最高となり
ました。農業経営は資材
高騰などで依然厳しい情
勢ですが、今後も明るく豊かな地
域社会づくりに貢献して頂き
たい」と挨拶した。
また、竹中喜之むかわ町長のメ
ッセージを飛岡雅幸農林水産課
主幹が伝えた。
総会は竹之内基洋子さんを議

長に選出。令和7年度事業報告
とサークル部会活動を、阿部ノリ
子さんが「ヘルシーサークル」、須
藤千恵子部長が「手芸サークル」
を報告し、一般会計収支決算と道
外視察研修会計、創立80周年記
念事業、研修収支決算書を農業
振興部の門馬俊樹係長が報告し
た。令和8年度はより一層地域に
密着したJAづくりを考え、農に
かわる女性ならではの持続可
能な開発目標(SDGs)の視点
とパワーを事業活動に活かし、社
会情勢の変化に対応した明るく
豊かな地域社会づくりをめざす



総会の様子

事業計画(案)では道外視察研
修等を計画した。さらに収支
予算(案)を提案した。総会で
提案した4議案は全て可決決
定された。
総会終了後、JA女性部と
JA役員との懇談会が同会場
にて行われ、JAから長門組
合長と毛利好隆参事、椿文子
理事が出席した。
毛利参事が令和7年度の農
畜産物販売実績と出資増口
運動について、冬期間の営業
体制変更に関する検討につ
いて説明した。
農畜産物販売実績は過去最高
の73億2千万円。出資金は1月末
で11億1230万円(内正組員
8億4907万円)だが80歳以上
の出資金も約2割ある。女性も正
組員となり出資を持つことは
可能なので是非検討してほしい。
営業体制変更については職員を
募集しているが、完全週休2日制
や給与水準が他業種より低い
ので改善を図りたい。出資金につ
いて質問があり、今後期待が持
てる意見交換が成された。

2月20日

JA青年部 JA役員と懇談会 農業の現状と展望を協議

JAむかわ青年部は2月20日、鶴川農協本部事務所でJA役員と懇談会を開き、部員20名が出席した。青年部辻雄一郎部長が「毎年実施している懇談会は話し合うことで理解を深めることができ活動につながっています」と挨拶した。

JAの長門宏市組合長は「青年部の事前質問に答え、討議することで



挨拶する辻部長

事業に反映することできるので、有意義な懇談会になっている」と挨拶が答えた。



青年部と懇談する理事の皆さん

農協運営に係る今後の展望について

農協として単協で運営していくことと、合併することに対しての、メリット・デメリットはどのようなものがあるのか。

●合併のメリット・デメリット

- ・産地形成、有利販売、ブランド構築力が組織の大型化により強化され販売代金の増加が見込める。但し、地域ごとに品質差や既存ブランドとの調整もある為、集約が難しい。
- ・売買単位が大きくなるため、購買品の調達力、供給力が強化される。但し、動かす単位が大きくなる分、きめ細やかな対応は難しくなる。
- ・生産施設の相互利用、拡充、整備によるサービス強化。但し、老朽化等による再整備や廃止施設も増加するため、管理コストも増大する。
- ・組合員組織が再編、統合され経済移動の活性化が見込める。但し、地域をまたいで大型化する為、組合員と農協間の関係は希薄になる。
- ・管理部門、各事業部門の効率化、合理化による管理経費削減。
- ・効率的人事ローテーションの実施と専門職育成。



挨拶する長門組合長

●単協のメリット・デメリット

- ・組織が小さい分地域内での連携が取りやすく、小ロットではあるものの、他条件で有利販売を実現できることがある。購買品の取り纏めについても集約のしやすさ等で合併農協より優位に立てることもある。
- ・意思決定が早い反面、合併農協より経営基盤が弱いため、大規模な投資には制限がかかる。
- ・職員の効率的ローテーションや専門職化、専門部署の設置が難しい。
- ・法律の改正やシステム構築、事務改正、不祥事防止等の要綱は合併農協を前提として作られていることが多いため、単協では対応負担が大きくなりがち。マネロン対策や内部統制は、専門部署の設置が義務付けられている。

営農に係る今後の展望等について

農業用ドローンは、施肥や各種防除等用途が多く、作業の効率化が期待できる機材だ。農協の協力のもと免許取得講習の取りまとめや補助金をつけることはできないか。

A

免許に関しては希望者を取りまとめて、日程や講習場所の交渉など、メーカーを限定しなければ支援は可能。個人所有のドローンに対するの免許助成に関しては公平性がなく難しい。また、作業委託のための免許助成については、利用していない生産者にも理解を得られるように地域全体の防除体制の仕組みが必要。

Q

配当について教えてほしい

今年の鶴川農協の取り扱った販売高は過去最高と伺っているが、配当については、業績が伸びた時に還元して貰えると、増口にも協力しやすくなるので教えて頂きたい。

A

令和7年の農協の経営状況に関して、過去最高の販売高となった主要因は主食用米の手数料である。また、共選施設に関しては出荷量が低下した一方、諸経費が上昇し、施設部門の収支は赤字の見通し、また、全体においても賃金を改正した影響で販売高は昨年より上回っているものの、剰余金は昨年を下回る見通し。

剰余金に関しては購買額への配当が肥料、農薬、段ボール、バラ飼料に対し、1.5%、営農灯油、免稅軽油に対して1.5%を配当予定。出資配当については積み立てる年で不公平にならないように1.0%を維持する。地震被害等により過去10年で19億円を支出しており、今後10年間で8〜10億円を支出する見込である。一方、施設整備積立

Q

主食米、加工米の割り振りについて

割り振りについて不公平感が出ないか心配だが、農協側としてはどのような考えがあるか。

A

令和8年産の主食米作付面積については、昨年度の53%で一律配分をお願いした。北海道全体での令和8年主食用米の作付け希望は6600ha程度増加しており、供給過多による米価下落につながるのではないよう、生産の目安に協力してほしい。

Q

人材確保のためのSNS利用

農協や農家の仕事を動画や写真で宣伝してみてもどうか。求職者側も仕事がイメージしやすくなるのではないか。

A

現在農協のホームページのリニューアルを進めており、6月頃完成見込。賃金は大きい財源が必要なのですぐの対応は難しいが、完全週休2日制については組合員や顧客の理解のもと実施していきたい。

Q

特定技能実習生等のサポートについて

農協で雇用している特定技能実習生等の労働者の中で見込みのある希望者を特定技能2号へ切り替えるなど、長期的に雇用する意向はあるか、また希望者へのサポートをしていく予定はあるか。

A

現在雇用している特定技能1号(ミヤンマー人)への支援は支援管理団体が行うことが義務であり、受入企業は間接的な支援となるが、できるだけサポートしていくつもりである。特定技能2号になっても、臨時職員や嘱託職員として雇用することは可能であるものの、農業分野での資格では従事可能な業務が細かく定義されている為、正社員での雇用は難しい。

3月18日

ジャガイモ部会 種芋消毒 春始まる



種芋の消毒をする生産者

鶴川蔬菜園芸振興会ジャガイモ部会(18名)は3月18日、JAの集出荷場前で種芋の消毒作業を行った。
早朝から消毒に備え、段ボール箱(10kg)の種芋を部会員と営農部職員が協力してコンテナ(1コンテナ20キ)に移し替えた。JA職員がコンベアに種芋入りコンテナを載せ、消毒機の水溶液に4〜5秒間くぐらせた後、流れてくる種芋を部会員らが協力してトラックの荷台に積み込む。
ジャガイモ部会では栽培に使用

する種イモは全て消毒することを決め、春一番の恒例作業となっている。
消毒は、そうか病などの殺菌が主なる目的でメークインを中心にコンテナ806個を処理した。持ち帰ってから部会員はコンテナの種イモを半分に分け、ハウスの中で浴光育芽を行う。毎日温度管理に細心の注意を払い、発芽を均等にす。約1ヶ月間芽が伸び過ぎないように留意し、健全な芽が育つように日々管理し、最善の発芽管理をして4月中旬頃にほ場に定

種イモの消毒

種イモ栽培に用いる種イモは全てを消毒する。消毒は出来るだけ未萌芽の種イモに行なう。しかし、発芽促進を行った後の消毒も畑での莖数に影響は見られないので、以下の浴光育芽の前に行っても良い。また、秋消毒で済ませる方法も良い。主要対象病害は、黒あざ病、黒あし病、そうか病であるが、同薬剤でその他いくつかの菌類病、細菌病にも効果がある。目に見える病害は選別で除かれているので、目で見えないような小さな病斑等に対して薬剤による消毒を行なう。

〈浸漬法〉

黒あし病、そうか病、黒あざ病の3病害に対しては、アタッキン水和剤(商品名)の40〜60倍液の瞬間浸漬がある。本剤はもっとも一般的に使用される。

黒あざ病、そうか病の2病害に対しては、ノットバン水和剤50倍の瞬間浸漬がある。

黒あし病、そうか病の2病害に対しては、アグリマイシン水和剤40〜100倍液の瞬間浸漬がある。

黒あざ病に対しては、バリダシン液剤、100倍液、バシタック水和剤75、60〜100倍液5〜10秒、モンカット水和剤50、100〜200倍液、モンセレン水和剤、50〜100倍液の浸漬法がある。

そうか病に対しては、銅ストマイ水和剤100倍液、瞬間浸漬、アグレプト水和剤60〜100倍液、瞬間浸漬がある。



消毒済みのジャガイモ

3月9日

むかわ春レタス収穫始まる 厳冬に蓄えた旨さ全道に



関さん夫妻のむかわ春レタスできました

むかわ春レタスの出荷

出荷は1玉550g以上、1箱12玉入り7キを基準(A品12玉)下限6.5kgが絶対条件としている。箱に入れる玉数は10玉、12玉、14玉とコンテナ18玉のA品4規格。

JAむかわの春レタスの収穫が3月9日から始まった。今年には暖冬で例年より1週間以上早い収穫となり25日現在日量1800箱を道内各市場に出荷している。
生田地区の関浩一さんは新規就農して13回目のレタスの収穫を迎えた。3月16日から収穫をはじめ、毎日50箱をJAに出荷している。早朝4時から奥さんの真紀さんとパー

トの3名で収穫や箱詰め作業を行っている。浩一さんは「今、収穫しているレタスは『春P』という品種で1月上旬に定植した。栽培期間中寒暖の差が大きかったため温度管理は大変だったけれど雪が少なく暖冬で、春一番に収穫することができて嬉しい」と話した。
関さんではハウス8棟(1000坪)にレタスを栽培し、収穫時期が集中しないようにと昨年の12月から5回に分けて定植した。収穫は5月上旬まで日量50箱を出荷する予定だ。

浩一さんは「3ヶ月以上無加温で栽培するので、レタスは寒さが厳しいと、凍れから実を守るために糖度を上げ、一段と甘くて美味しくなる」と話した。真紀さんは「旬のむかわ春

レタスを皆さんに食べてもらいたい。上葉はしゃぶしゃぶなどに、中はサラダなどでシャキシャキ感とおいしさを味わってください」と話した。
4月になると65戸の生産者が収穫し、日量3000箱を全道各地に出荷し、鶴川春レタスの季節を迎える。JAむかわのレタスは15年の歳月をかけ、道産レタスの栽培技術を確立し、春レタス産地となった。平成19年度にはホクレン夢大賞「優秀賞」を受賞し、鶴川春一番の自信作となった。



むかわ春レタスを収穫する関夫妻

3月13日



笑顔弾けるもくし作り

和牛婦人部もくし作り 伝統の技つなげ



みんなでもくしを作る (左が鎌田さん)

JAむかわ和牛婦人部は3月13日、むかわ町農業センターでもくし(頭絡・とららく)作りを行い、12名が参加した。もくしは、馬や牛などの頭部に取り付ける馬具または畜産用具の一種で、肉牛を扱う上で欠かせないもの。もくしは、親牛用、育成用、子牛用の3種類ある。

この日は午前9時から始め、育成用183本を製作した。作業がすぐできるようにと農畜産課の斉藤圭主任は事前に5メートルの長さに切り揃え、部員は早々に編み込み作業を始めた。熟練者だと、10分から15分

で、1本を編み上げることができ。もくし作りで欠かすことのできない編み方が三つ編みで、さらに「さつま結び」や「巻き結び」などがあり、先輩から後輩へと伝えられてきた。

(有)鎌田ファームの鎌田晴香さんは「長年作っていても最初忘れ、ベテランの人に聞いて思い出しました。自分で作ることもができて教えるのは難しい。けれどみんなで作るもくし作りは楽しい」と話した。和気あいあいとした雰囲気の中、部員らは手を動かしながら会話を弾ませた。

完成品はJAむかわ生産資材課が購入し、婦人部の収入源となり、活動費の一部を支えている。和牛婦人部のもくし作りは10年以上の歴史があり、当初は鎌田節子さんが知人から教わり、何度も練習を重ねて部員に伝えた。その後も先輩たちが新部員に教え、伝統の技を引き継いできた。和牛婦人部の大半は、仔牛を10ヶ月程度育てて販売する育成農家。

伊藤幸枝部長は「いろんな話題で盛り上がり、目標本数を作ることができました」と話した。

3月9日

播種したパレットを確認



キャベツ部会春一番

22回播種で安定供給

JAむかわ蔬菜園芸振興会キャベツ部会(部会員15)は3月9日、豊城地区の共同育苗センターで1回目の播種を行った。部会員5名は各部所で作業を行った。

最初育苗トレーをベルトコンベアに乗せると自動的に土が入り、播種後鎮圧され、水をかけて一連の自動作業は終了する。この日播種したトレーは135枚(1枚は128穴)。

播種したトレーは部会員が持ち帰り、約1ヶ月間、細心の注意を払い散水や温度などの育苗管理をする。育苗は定植後、品質や食味、収量に大きく影響するので部会員は毎回気を配っている。

この日播種した早生品種「662」は4月15日ほ場に定植し、6月17日に収穫予定。キャベツ部会は年間22回に分けて播種し、最終収穫開始日の10月18日を目標に、安定供給に努める。

今年度の作付面積は40畝で販売目

標準額は1億8000万円。近藤慎二部会長は「昨年は気候の変動により病害虫の被害があったが、今年度も栽培講習会を開き、早期対策と栽培管理に万全を期し、安定供給に努めたい。災害もなく天候に恵まれ、11月まで安全安心の美味しいキャベツを消費者に届けてバトンを次の産地に渡したい」と力を込めた。



軽トラックに播種パレットを積み込む

3月19日

説明を受ける来場者



春の大展示即売会 農機具・資材・車 勢揃い

JAむかわは3月19日、資材・農機センター主催、ホクレン苫小牧支所が共催。23社の協賛メーカーが出席し

「2026春農業機械大展示即売会と農業資材・自動車展示即売会」を同施設構内で開いた。



商品の説明を聞く



雪降る中での展示会

展示会には160名の組合員はじめ多くの来場者が訪れ、記念品がプレゼントされた。来場者は同施設の中古農機展示場の「アルダーオープンフェア」にも足を運び、勢揃いした新農業機械や中古農機具などを見て回った。また、「ディーラー協賛の新車や中古車展示コーナー」が設けられ、購入者にはJAバンクのマイカーローン最優遇金利を実施した。償還期間7年以内(正組合員)なら1.5%など、その他のローン相談にも対応した。

農業資材では、ハウス資材やかん水、温度、土壌水分量、日射量を遠隔で自動で農場を制御・監視する、スマホで簡単管理操作器などを展示した。給油所関連では、夏タイヤお買得直前ご奉仕セールも好評だった。多くの来場者がそれぞれ希望の商品を確認し、メーカーの担当者や相談。十分な対話をしてからの購入者も多く、春一番の大展示即売会は大盛会だった。尚、出品機械はインターネット「アルダー」で検索すると、農機具の販売状況を確認して購入することができる。

JAむかわ関真紀女性部長 新規就農から震災、コロナ禍乗り越え 人と地域が輝く女性部に



夫の浩一さんと私は浜頓別の中学と高校で同級生でした。20歳で結婚し3人の子供を社会に送り出し、浩一さんが農業に興味を持ち、農業人フェアでむかわ町を紹介して頂き私は夫の農業に対する覚悟を聞き、賛同しました。私も農業は全く未経験でした。さまざまな農業研修を積んで2013(平成24)年、家族3人で就農しました。レタスとトマトを栽培し、失敗をおそれることなく前進して

創意工夫を重ねてきました。夫と13年間苦楽を共に、何とか農業者になることができました。その間毎年変化する気象や災害にも遭いましたが、手をかけ愛情を込めると作物は応えてくれました。農業経営は大変で悔しい思いをすることもありますが、来年こそは課題を乗り越えようとの目標で新たな年を迎えました。

夫は部会や自治会に、私はJAむかわ女性部に加入し、地域活動に積極的に参加しました。

2018年、震度6強の胆振東部地震が襲い、むかわ町は大打撃を受けました。その年、むかわ町の姉妹都市砺波からJAむかわ女性部にチューリップの球根が届き、温かく優しい心遣いが本当に嬉しく、翌年赤や黄色の花が咲きました。毎年、沿道を彩る花は町民を癒やし、コロナ禍でも春の訪れと共に閉ざした心を明るくしてくれ

ました。

私は2025年部長になり、先輩たちが培ってきたサークル活動や手作り豆腐教室、漬物、料理教室などをワークショップで行い、農業者以外の方も少しずつですが加入しています。

2020年道外研修でJAいしのまき女性部と交流し、昨年8月来町して、懐かしさと新たな交流を深めました。今年は北陸方面への道外研修を予定しています。女性部のつながりと絆が心の支え

関真紀女性部長

- ・モットーは「人と地域が輝く女性部に」
- ・女性部では
- ・2018年監事
- ・2019年から理事
- ・2021年から副部長
- ・農業経営規模はハウス8棟(1000坪)にレタスとトマトを栽培
- ・「大きな挑戦は特にありませんが、絆や交流を大切に地道な活動を続けていきたい」



3ヶ月間育てたレタスを収穫する

4月8日

2月16日

ブロッコリー部会通常総会 3年後の目標は20億円

蔬菜園芸振興会ブロッコリー部会(18名)は2月16日、むかわ町農業センターで通常総会を開き15名が出席した。須藤正人部会長は「昨年も厳しい栽培環境だったが、皆さんの努力で目標を大幅に超える14億円を達成することができました。今後、令和7年度の販売実績を片山和祐蔬菜園芸係長が報告した。面積582畝、出荷数量1565万株、販売額は14億4842万円(粗原)。令和7年度の事業では販売推進や全体会議、島根、鳥取の研修

後も課題解決と品質向上で圧倒的産地としてさらなる目標の20億円を目指したい」と挨拶した。



挨拶する須藤部会長



総会で真剣に協議する部会員

旅行などについて報告した。さらに一般会計収支決算報告と特別会計収支決算報告を行った。

令和8年度事業計画(案)は販売推進やほ場巡回、全体会議、反省会を実施し、作付面積600畝、反収株数2800とし販売額15億6000万円の達成を計る。総会では今後共同選果場の創設でむかわブロッコリーのブランド化を計ることの質問に対し、場所や金銭面で困難なため考えていないと解答した。総会提案の4号議案は全て可決決定した。

3月23日

年金友の会総代会 健康でイキイキ活動



挨拶する中井会長

市組合長は「昨年度は大きな災害もなく天候にも恵まれて農畜産物の販売高は過去最高の70億円を超え、JAの決算も黒字となりました。日頃より皆さまのご理解とご協力を賜り感謝しています。今後も皆さまのご健勝と会の発展をご祈念申し上げます」と挨拶した。

鶴川農協年金友の会(会員180名)は3月23日、支部長会議兼総代会をJAむかわ本部事務所で行い、22名が出席した。中井弘会長は「年金友の会の行事に参加して頂き感謝とお礼を申し上げます。現在世界中で紛争や災害が発生していますが、年金友の会は健康で人生を楽しみ明るい地域社会づくりを担っています」と挨拶した。来賓のJAむかわ長門宏

「令和7年度事業報告並びに決算報告」「令和8年度事業計画(案)並びに収支予算(案)」を梅津薫信用課長が報告した。令和8年度事業の研修旅行や温泉湯治、パークゴルフ大会などについて「年金友の会だより」を発行し、積極参加と情報の共有を図っていく。提案した4議案は全て可決決定した。尚、役員改選では選考委員会を選出し、左記役員を決めた。会長・中井弘、副会長・服部良一、高田清治(新)、

監事・松並之雄(新)、須藤千恵子(新)

元気に温泉湯治・笑顔で満喫

JAむかわ年金友の会(会員180名)は3月10日から2泊3日の温泉湯治を登別温泉石水亭で行い、20名と役員4名が参加した。初日の10日は参加者が一同に介し宴会を行った。

宴会は懐石料理を堪能し、ビンゴゲームやカラオケで楽しんだ。翌11日は全員でスロットボールを行い一挙手一投に歓声と笑い声が会場にあふれた。高得点者から景品を選び全員が景品を手にした。金融部の貞廣幸治次長と信用課梅津薫課長、石川俊職員らが気配りをし、参加者は湯治を満喫した。皆さんが「大変楽しかった」と言い笑顔がこぼれた。

新入職員紹介 4月1日付けで2名の職員が採用になりましたので紹介します。

丹羽 諒雅さん (20歳)

所属：農業振興部



出身校 大原簿記情報専門学校札幌校
出身地 むかわ町
尊敬する人 母
特技(趣味) ゲーム(ドラゴンクエストなど)
抱負 いち早く戦力となれるように努力してまいります。

丸木 真吾さん (30歳)

所属：金融部 信用課



出身校 北星学園大学
出身地 札幌市
尊敬する人 父
特技(趣味) サッカー
抱負 迷惑をおかけすることがあると思いますが、少しでも皆さんのお力になれるよう日々精進してまいります。

よろしくお祈りします!

3月10日

お祝いの節目を迎えた傘寿3名と喜寿1名に記念品が贈られた。



参加者みんなで集合撮影

令和8年度団体等役員

【JA青年部】 (36名)



部長 辻 雄一
副部長 長谷川翔一
常任理事 伊藤 竜一
川西支部長理事 中田 賢大
川東支部長理事 林 彰朗
監査委員 佐々木義隆
小笠原翔吾

【JAむかわ労働力確保協議会】 (46名)



会長 源津 力
副会長兼会計 亀尾 佳数
副会長 近藤 慎二
監事 須藤 正人
内海 久俊

【JAむかわ町稲作研究協議会】 (29名)



会長 前田 拓郎
副会長 辻 雄一
副会長兼会計 新沼 将司
監事 小笠原大揮

【JAむかわ町酪農協会】 (5名)



会長 中田 賢大
副会長兼会計 毛利 松雄
理事 杉山 善裕
監事 岡崎 至徳
辻野 勲

【JAむかわ町酪農協会】 (5名)



会長 中田 賢大
副会長兼会計 毛利 松雄
理事 杉山 善裕
監事 岡崎 至徳
辻野 勲

【JA女性部】 (34名)



部長 関 真紀
副部長 奥野恵美子
副部長 椿 文子
理事 古根川隆子
理事 高玉千代子
理事 加藤 洋子
理事 中奥 恵子
監事 田中 幸美

【胆振東部軽種馬振興会】 (18名)



会長 桑原 康裕
副会長 廣友 伸明
理事 (ストロベリーフィールドファーム) 平岡 茂樹
理事 宇南山信隆
監事 清水 斉
胆振軽種馬農協 上水 明
理事 新井 誠

【ほうれん草部会】 (43名)



部長 田畑 松夫
副部長 坂田 浩一
副部長 今村 慎治
副部長 須藤 正人
監事 前田 博
中川恵理子

【レタス部会】 (60名)



部長 丸山 幸治
副部長 宮川正太郎
副部長 今村 慎治
役員兼会計 大竹 啓介
監事 長谷川博章
竹之内智行

【キャベツ部会】 (15名)



部長 近藤 慎二
副部長 佐々木義隆
副部長 高玉 潔
監事 新沼 将司

【露地レタス部会】 (2名)



部長 山谷 雅彦
副部長 源津 力

【ニラ部会】 (14名)



部長 小笠原大揮
副部長兼会計 新沼 将司
監事 金谷 昭史
坂田 浩一

【トマト部会】 (51名)



部長 前田 拓郎
副部長 奥村 伸也
副部長 馬場 信也
会計 梶原 幸和
監事 高柳 壮
佐藤 啓太

【アルストロメリア部会】 (3名)



部長 内海 宏昭
副部長 百目木秀信
書記兼会計 百目木秀信
監事 神田 忠信

【和牛改良組合】 (28名)



組合長 鎌田 拓弥
副部長 野脇 広夢
理事 田浦 悟
理事 宮下 涼一
理事 加藤 啓介
理事 長門 達也
理事 貞廣 賢治
監事 山谷 和彦

【鶴川小麦生産販売協議会】 (118名)



会長 森 和也
副部長 前田 拓郎
副部長 田畑 松夫
副部長 毛利 武
監事 清水 修一

【親睦団体役員】 (180名)



会長 中井 弘
副会長 服部 良一
副会長 高田 清治
副会長 松並 之雄
監事 須藤千恵子

【フロッコリー部会】 (17名)



部長 須藤 正人
副部長 源津 力
副部長 小笠原翔吾
副部長 高田 慎一
監事 西 智一

【スターチスシアンサス部会】 (11名)



部長 亀尾 佳数
副部長 松並 恵一
書記兼会計 松並 恵一
監事 清野 雅之

【和牛改良婦人部】 (19名)



部長 山谷 直美
副部長 清野 典子
理事 鎌田 尚子
理事 田浦 貴子
監事 佐藤 一美

【スズマル生産組合】 (37名)



組合長 山下 裕太
副組合長 山谷 雅彦
副組合長 近藤 慎二
副組合長 毛利 武
監事 田畑 松夫

【花き生産組合役員】 (12名)



組合長 清野 雅之
副組合長 百目木秀信
書記兼会計 松並 恵一
監事 亀尾 佳数
内海 宏昭

【農畜産各団体役員】 (5名)



会長 中田 賢大
副会長兼会計 毛利 松雄
理事 杉山 善裕
監事 岡崎 至徳
辻野 勲

【むかわ町稲作研究協議会】 (29名)



会長 前田 拓郎
副会長 辻 雄一
副会長兼会計 新沼 将司
監事 小笠原大揮

【鶴川甜菜振興会】 (12名)



会長 長門 達也
副会長兼会計 土田 泰弘
監事 立石 明宏



正組員(ご家族)の方々が逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り致します。				
お	地区名	氏名	享年	逝去月日
く や み	宮戸	貞廣スイ子さん	92歳	2月24日
	有明	加藤 昭一さん	98歳	3月6日
	宮戸	辻野 スエさん	95歳	3月12日

青年部定期総会後集合写真 (2026年3月9日)

JAむかわ青年部の第77回通常総会は3月9日、
鶴川農協本部事務所で開かれ、新年度役員、事業
計画などが決まりました。

編集後記

☆またたく間に5月となり、今年も3分の1が過ぎました。4月10日の通常総会が終わり、JAむかわの農畜産物の販売高は73億2千万円と過去最高となり、嬉しいです。今年目標額は70億円。それぞれの分野で目標に向かって日々励まれることと思います。5月の青空に鯉のぼりがたなびき初夏の風が吹き、夜明けが早くなり、朝日に輝く新緑がまぶしい季節となりました。☆朝の太陽を起床後1時間以内に約15分～30分浴びるのが健康にとっても良いそうです。その理由は体内時計がセットされ、セロトニン(幸せホルモン)の分泌でメンタル安定と夜の良質な睡眠をうながし、ビタミンDが生成され骨を強くし免疫力の向上に役立つそうです。☆最近では春が短く、夏の到来が早く気温も乱高下しますので体調管理には十分気をつけてください。5月は田植えやキャベツ、ブロッコリー、カボチャなどの露地野菜の定植とハウストマトの定植など実に忙しい日々が続き、繁忙期を迎えますが無理をせず、農作業の事故にも万全の注意を払ってください。☆私も皆さんの頑張りを記事と写真で応援します。ご理解とご協力をお願いいたします。今後、若い生産者の方々を順次紹介して行きますのでよろしくお祈りします。☆農業を取り巻く情勢も世界の紛争で生産資材の高騰や品不足など厳しさをましています。「播かぬ種は生えぬ」で今年も作物は雨風や猛暑に耐えながらも大地に根を張り日々生育し、実りを与えてくれるはず。僅かな期間で作物は生育し、人間の命を支えてくれます。「いただきます」は動植物のいのちをいただくこと。感謝の気持ちを大切に、健康に留意し春から夏を迎えましょう(H・N)

2026年3月号の表紙を飾った人たち

			奥村和花さん (2026年20歳 の集い) ※以下同じ	古根川健斗さん (20歳の集い)	加藤瑞緒さん (20歳の集い)
			藤島真斗さん (20歳の集い)	高橋心那さん (20歳の集い)	上杉大空さん (20歳の集い)
笑顔大笑!!			森山香蓮さん (20歳の集い)	畠山梨玖さん (20歳の集い)	森上楓さん (20歳の集い)
			梅津陽(はる)さん (20歳の集い)	大塚悠来さん (20歳の集い)	梅沢利菜さん (20歳の集い)
			伝法谷小梅さん (20歳の集い)	島中美藍さん (20歳の集い)	亀田大和さん (20歳の集い)

【お詫び】前号「2026年1月号の表紙を飾った人たち」のうち、上段左の愛澤柊史(もみじ)さんのお父さんは椿生(つばき)さんは誤り、正しくは和也さん/2段目右の愛澤椿生(つばき)さんは誤り、正しくは和也さんでした。お詫び申し上げます。